

第42回建設業経理事務士検定試験

4級試験問題

注意事項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄が2ヵ所あります。2ヵ所とも、氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

〔第1問〕 次の取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の〈勘定科目群〉から選び、その記号（A～R）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた（例）に対する解答例にならって記入しなさい。（24点）

（例） 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) 建設中であった建物が完成したためA社に引き渡し、その代金¥4,000,000を同社振出しの小切手で受け取った。
- (2) 1号現場の作業員の賃金¥100,000を現金で支払った。
- (3) かねてより貸付けをしていたB社から元金¥120,000の返済があり、利息¥1,000とともに、当社の普通預金口座に振り込まれた。
- (4) 工事用の資材が工事現場に納入されたため、その代金¥600,000を小切手を振り出して支払った。
- (5) 業務用の応接セット一式を購入し、その代金¥130,000を現金で支払った。
- (6) 手許現金を補充するため、小切手¥50,000を振り出した。

〈勘定科目群〉

A 現金	B 当座預金	C 建物	D 貸付金	E 外注費
F 借入金	G 給料	H 完成工事高	J 受取利息	K 備品
L 普通預金	M 経費	N 労務費	Q 材料費	R 支払利息

〔第2問〕 次の文の の中に入る用語として最も適切と思われるものを下記の〈用語群〉から選び、その記号（ア～ト）を解答欄に記入しなさい。（8点）

- (1) 簿記には、その記帳方法の違いによって 1 と 2 の2つがある。
- (2) 損益計算書は、企業の 3 の 4 を表示している。
- (3) 残高試算表の 5 には、 6 と費用に属する諸勘定の残高が記入される。
- (4) 簿記の基本手続を遂行するうえで不可欠の帳簿を 7 といい、仕訳帳と 8 の2つの帳簿が含まれる。

〈用語群〉

ア 材料費	イ 単式簿記	ウ 資本金	エ 借入金	オ 複式簿記
カ 財政状態	キ 経営成績	ク 貸方	コ 借方	サ 資産
シ 負債	ス 現金出納帳	セ 補助簿	ソ 総勘定元帳	タ 主要簿
チ 一定期間	ト 一定時点			

〔第3問〕 次の表の（ア）～（シ）に入る金額を計算し、その金額を解答欄に記入しなさい。（12点）

（単位：円）

年 度	期 首			期 末			収 益	費 用	当期純利益または 当期純損失（△）
	資 産	負 債	資 本 （純資産）	資 産	負 債	資 本 （純資産）			
a	66,000	44,000	（ア）	（イ）	40,000	（ウ）	78,000	73,000	（エ）
b	（オ）	17,000	（カ）	28,000	（キ）	13,000	48,000	（ク）	3,000
c	111,000	（ケ）	35,000	（コ）	79,000	（サ）	160,000	152,000	（シ）

〔第4問〕 乙工務店の次の〈資料1〉及び〈資料2〉に基づいて、解答用紙の合計残高試算表（20×5年1月31日）を完成しなさい。（30点）

〈資料1〉 20×5年1月1日（期首）の勘定残高は次のとおりである。

現金 ¥347,000 当座預金 ¥933,000 土地 ¥300,000 借入金 ¥850,000 資本金 ¥730,000

〈資料2〉 20×5年1月中の取引は次のとおりである。

- 7日 本社事務所の家賃¥100,000が当座預金から引き落とされた。
- 10日 現場事務所の電話料¥5,000が当座預金から引き落とされた。
- 13日 A社に対し、現金¥31,000を貸し付けた。
- 14日 本社事務所の事務用机を購入し、その代金¥110,000を現金で支払った。
- 17日 B不動産より土地¥700,000を買い入れ、その代金を小切手で支払った。
- 18日 外注費¥55,000の支払いのため、小切手を振り出した。
- 20日 材料を購入して工事現場へ搬入し、その代金¥55,000を現金で支払った。
- 24日 工事が完成したため発注者へ引き渡し、その代金¥600,000を現金で受け取った。
- 25日 現場作業員の給料¥150,000を現金で支払った。
- 30日 借入金¥240,000と、それに対する利息¥1,000を現金で支払った。

〔第5問〕 次の事項を参照のうえ、解答用紙の精算表を完成しなさい。（26点）

- (1) 当期末において工事はすべて完成し、引渡し済みである。
- (2) 工事に関する原価は、すべて完成工事原価勘定に振り替える。